

道の駅「パティオにいがた」

○閉ざされた史実(戊辰戦争の激戦地:今町地区)に光を当て、地域内外の多くの人たちが道の駅を拠点としてまちなかを訪れ回遊する仕組み作り。
 ○交流人口の増加を図り、人と人がふれあい、新たな刺激を与え合うことによる地域の活性化を期待。

<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

観光総合窓口
 史実・文化など知的好奇心を刺激する
 機会の提供

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
パティオにいがた	新潟県	見附市	主要地方道 (見附中之島線)	既設	平成25年	単独型



新政府軍の本営となった
永閑寺



弾痕の残る米山薬師塔



約360年の伝統を誇る今町・中之島大風合戦



【課題】地元商店街の衰退



今町地区にある戊辰戦争の戦跡、大風合戦や大風伝承館等の地域の宝物と連携し、地域のゲートウェイとして機能

<提案の先駆性・ポイント>

- 見附市は、「超高齢化社会・人口減少社会における持続可能な都市・地域」について地域活性化モデルケースに選定。
- 中心市街地の活力の回復のため、戊辰戦争の際に激戦地となった今町を紹介するジオラマ模型を設置。地域自治組織である「今町まちなかコミュニティ」と連携し、今町の観光ガイドボランティアを育成しながら、地域探訪・まち歩きツアーなどを実施。

道の駅から中心市街地へ回遊する仕組みづくり

今町の魅力発信



地域の宝物を紹介する
ジオラマ模型の設置



歴史資産の活用
(戊辰戦争の史跡等)



料亭ランチ等、
地元商店との連携

まち歩きツアーの発着拠点



観光ガイドの育成、ツアーの実施

「見附まちなびカード」の設置【実施済】



市内のスポット情報を記載したカード
(一部お得なクーポン付き)

<実施内容>

- 地域の宝物を紹介するジオラマ模型の設置
- 戊辰戦跡をはじめとした今町の魅力を発信
- 観光ガイドボランティアの育成
- 地域探訪・今町まち歩きツアーの実施